

令和5年6月23日

養父市議会議長 西 田 雄 一 様

養父市議会議員定数・報酬等調査特別委員会
委員長 田 村 和 也

養父市議会議員定数・報酬等調査特別委員会中間報告書

本特別委員会において調査したことを、次のとおり中間報告する。

記

1 調査年月日

令和5年3月22日（水）、4月10日（月）、19日（水）、28日（金）、
5月16日（火）、31日（水）

2 調査事項

- (1) 養父市議会における議員定数と報酬等の改定の経緯について
- (2) 丹波市議会議員定数・報酬等調査特別委員会の取組について

3 調査内容

令和5年2月27日の第116回定例会において、養父市議会委員会条例第6条に基づき、議員定数・報酬等調査特別委員会が設置され、本日まで
に6回の委員会を開催した。委員会では、本市議会における議員定数、報
酬等の改定の経緯、近隣他市の状況等を調査し、論点整理や市民意見を聴
取する機会の位置づけも兼ねた議会と市民の合同研修会の実施等について
調査した。

(1) 養父市議会における議員定数と報酬等の改定の経緯について

養父市議会の議員定数は、平成16年4月の合併時は在任特例を適用、
旧町議会議員56人でスタートし、同年11月には定員22人とする新市初
の選挙が行われた。その後の協議により、平成20年に18人、平成24年
に16人となり現在に至っている。

平成16年11月改選後の報酬は、特別職報酬等審議会の答申により議員

31 万円とした。平成 18 年には、同審議会の答申により 10%削減の 27 万 9,000 円としたが、現在の定数 16 人とした平成 24 年 11 月に議員発議で合併時と同額の 31 万円に戻している。

(2) 丹波市議会議員定数・報酬等調査特別委員会の取組について

丹波市議会は、令和 4 年 12 月の定例会で次期改選時の議員定数及び報酬について条例改正をしており、調査にあたり設置していた同市議会議員定数・報酬等調査特別委員会の取組を視察調査した。

視察調査にあたり、当時の特別委員会委員長から論点整理の経過や市民意見聴取のための車座ミーティングの詳細など、調査の過程と同特別委員会がまとめた調査報告を受けた。また、最終的に議員発議により議員定数を削減、報酬のうち期末手当と政務活動費を増額するに至った経緯について説明を受けた。

(まとめ)

今後の調査として、議員定数と報酬等の改定についての論点整理と委員間討議をさらに深めるため、議員及び議会モニターを対象にしたアンケート調査を行う。また、市民とともに議員定数と報酬等を考える機会として、議会及び市民合同の研修会の開催を予定している。